

(1)届出件数

＜主用途が非住宅の物件＞

ランク	届出件数	省エネ基準適合義務があつて適合している件数	省エネ基準適合義務がなくて適合している件数	再生可能エネルギーを導入する件数		
				太陽光発電	太陽熱利用	その他
S	0	0	0	0	0	0
A	2	1	1	0	0	0
B+	9	3	6	0	0	0
B-	11	0	9	0	0	0
C	0	0	0	0	0	0
計	22	4	16	0	0	0

(※)省エネ適合義務ありは、非住宅部分の延床面積10,000㎡以上の新築・増改築。

＜主用途が住宅の物件＞

ランク	届出件数	省エネ基準適合義務があつて適合している件数	省エネ基準適合義務がなくて適合している件数	再生可能エネルギーを導入する件数		
				太陽光発電	太陽熱利用	その他
S	0	0	0	0	0	0
A	2	0	2	1	0	0
B+	25	1	6	2	0	0
B-	14	0	0	1	0	0
C	0	0	0	0	0	0
計	41	1	8	4	0	0

(※)省エネ適合義務ありは、住宅部分の延床面積10,000㎡以上で高さ60m超の新築・増改築。

(注)上記の表の数字は届出の内容によるもので、現在資料確認中のものも含んでおり、今後変更される場合がある。

(2)太陽光発電設備を導入する物件(4件)の内訳

建物用途	延床面積	発電容量
共同住宅	2797.09㎡	11kW
共同住宅	3968.24㎡	3kW
共同住宅	921.03㎡	4kW
共同住宅	32293.36㎡	10kW

(3)再生可能エネルギーを導入しない理由

＜太陽光発電設備＞

理由	非住宅	住宅
日照が確保できない	6	0
躯体が荷重に対応できていない	5	13
敷地内に設置する場所を確保できない	6	0
費用負担が大きい	16	32
本計画では見送るが、将来対応可能とする	1	2
その他	4	1

＜太陽熱利用設備＞

理由	非住宅	住宅
日照が確保できない	6	0
年間を通じて安定した熱需要がない	1	0
躯体が荷重に対応できていない	6	14
敷地内に設置する場所を確保できない	6	2
費用負担が大きい	16	33
本計画では見送るが、将来対応可能とする	0	1
その他	4	1

(注)複数の理由を回答している物件があるため、理由の数の合計と届出件数は一致しない。